

au 損保、2024 年度自転車利用時のヘルメット着用率を調査

～努力義務化の認知は浸透するも、着用率は 22.9%と 1.3 ポイント増で伸び悩み～

au 損害保険株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長:山田 隆章、以下、au 損保）は、全国の自転車利用者の 15 歳から 69 歳の男女 14,737 名を対象に、自転車利用時のヘルメットに関する調査を実施しました。

改正道路交通法の施行により、2023 年 4 月 1 日から年令を問わず自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されており、昨年度に引き続き、努力義務化の認知度やヘルメットの着用率などの調査結果を発表します。

1. 自転車利用時のヘルメット着用努力義務化の認知度は 85.9%【表 1】

道路交通法により、年令を問わず自転車利用時のヘルメット着用が努力義務となっていることを知っているか尋ねたところ、「知っている」と回答した方は 85.9%（12,664 名）で、2023 年度調査の 85.5%（対前年度比+32.3 ポイント）に比べ+0.4 ポイントとほぼ横ばいでした。

2. 自転車利用時のヘルメットの着用率は 22.9%、昨年度から微増【表 2】

自転車利用時にヘルメットを着用しているかを尋ねたところ、「いつも着用している」と「ときどき着用している」と回答した方を合わせると 22.9%で、2023 年度調査の 21.6%（対前年度比+11.2 ポイント）に比べ+1.3 ポイントと微増でした。

3. 都道府県別の着用率、トップは山口県【表 3】

都道府県別の着用率では山口県が 40.7%でトップでした。多くの自治体で着用率が上昇する一方、14 都府県では低下しました。

4. 着用していない理由は「購入費用が負担」が最多【表 4】

「着用していない」「ヘルメットを所有していない」と回答した方に、その理由を尋ねたところ、「購入費用が負担」と回答した方が 26.2%（2,975 名）で昨年度に引き続き最多となりました。昨年度と比べて最も増えた理由は「ヘルメットの保管場所に困るから」（0.8 ポイント上昇）、最も減った理由は「着用している人が少ないから」（1.3 ポイント低下）となり、着用する方が増えるにつれ、実用的な課題を感じる方が増えていると考えられます。

5. 持っているヘルメットが「安全基準を満たしている」という回答は 40.7%【表 5】

ヘルメットを持っている方に「あなたがお持ちのヘルメットは SG マーク（製品安全協会）等の安全基準を満たしたヘルメットですか？」と尋ねたところ、「安全基準を満たしている」と回答した方が 40.7%と、2023 年度調査の 39.5%から 1.2 ポイント上昇しました。安全基準を満たしたヘルメットを着用することの重要性が理解されてきていると考えられますが、一方で安全基準を「満たしていない」「わからない」「安全基準について知らない」と回答した方が半数以上でした。

今回の調査では、自転車利用時のヘルメット着用努力義務化の認知度は85.9%、ヘルメットの着用率は22.9%という結果でした。ヘルメットの着用率は昨年度より上昇したものの、努力義務化の認知度と比べてまだ低く、引き続きヘルメット着用の必要性を知っていただくことが重要です。

au 損保は、これからも身近な保険・サービスの提供等を通じて、皆さまのライフスタイルに寄り添い、安心・安全な毎日をサポートしてまいります。

以上

【調査概要】 au 損保調べ

調査方法：インターネットによるアンケート

対象者：自転車利用者

対象地域：日本全国

回答者数：14,737 名

回答者年齢：15 歳から 69 歳

実施時期：2025 年 1 月 17 日～2025 年 1 月 20 日

※本調査では小数点第 2 位以下を四捨五入しています。

【表 1】 ヘルメット着用努力義務化の認知度

	2024 年度	2023 年度	2022 年度
努力義務化の認知度	85.9%	85.5%	53.2%
前年度差	+0.4 ポイント	+32.3 ポイント	—

【表 2】 ヘルメット着用率

	2024 年度	2023 年度	2022 年度
全国の着用率	22.9%	21.6%	10.4%
前年度差	+1.3 ポイント	+11.2 ポイント	—

※着用率＝「いつも着用している」「ときどき着用している」の合計回答者数／各都道府県の全回答者数

【表 3】 都道府県別 ヘルメット着用率

順位	都道府県名	2024 年度	2023 年度	前年度差
		着用率	着用率	
1	山口県	40.7%	34.1%	+6.6pt
2	長野県	39.8%	37.1%	+2.7pt
3	大分県	36.6%	33.7%	+2.9pt
4	沖縄県	34.0%	25.0%	+9.0pt
5	福島県	33.6%	27.5%	+6.1pt
6	山形県	33.3%	24.0%	+9.3pt
	群馬県	33.3%	35.3%	▲2.0pt
8	青森県	32.8%	26.2%	+6.6pt
9	山梨県	31.9%	34.8%	▲2.9pt
10	高知県	31.4%	17.8%	+13.6pt
11	島根県	30.6%	35.9%	▲5.3pt
	長崎県	30.6%	48.7%	▲18.1pt
13	栃木県	30.1%	26.1%	+4.0pt
25	岐阜県	27.5%	29.2%	▲1.7pt
	愛知県	27.5%	25.6%	+1.9pt
27	岡山県	26.1%	21.9%	+4.2pt
28	佐賀県	25.9%	21.4%	+4.5pt
29	宮城県	25.7%	21.2%	+4.5pt
30	新潟県	25.4%	22.9%	+2.5pt
31	宮崎県	24.5%	24.2%	+0.3pt
32	茨城県	24.2%	29.6%	▲5.4pt
	福岡県	24.2%	25.4%	▲1.2pt
34	徳島県	23.5%	26.7%	▲3.2pt
35	北海道	23.3%	21.0%	+2.3pt
36	神奈川県	21.9%	20.7%	+1.2pt
	兵庫県	21.9%	17.6%	+4.3pt

	鹿児島県	30.1%	26.4%	+3.7pt		38	奈良県	20.5%	16.1%	+4.4pt
15	愛媛県	29.9%	36.2%	▲6.3pt		39	和歌山県	20.4%	19.5%	+0.9pt
16	静岡県	29.8%	27.9%	+1.9pt		40	秋田県	20.0%	20.7%	▲0.7pt
17	富山県	29.6%	28.7%	+0.9pt		41	京都府	19.8%	20.8%	▲1.0pt
18	福井県	29.3%	22.8%	+6.5pt		42	千葉県	19.7%	17.9%	+1.8pt
19	三重県	29.2%	26.2%	+3.0pt		43	埼玉県	18.8%	18.3%	+0.5pt
	鳥取県	29.2%	22.4%	+6.8pt		44	広島県	18.1%	16.1%	+2.0pt
21	熊本県	28.2%	28.7%	▲0.5pt		45	岩手県	17.6%	22.2%	▲4.6pt
22	香川県	27.9%	18.4%	+9.5pt		46	東京都	17.4%	18.3%	▲0.9pt
23	滋賀県	27.7%	25.9%	+1.8pt		47	大阪府	14.8%	11.7%	+3.1pt
24	石川県	27.6%	27.6%	0.0pt						

【表 4】 ヘルメットを着用しない理由（複数回答）

	2024 年度		2023 年度		2022 年度	
	割合	前年度差	割合	前年度差	割合	前年度差
ヘルメットの購入費用が負担だから	26.2%	▲0.4pt	26.6%	+5.1pt	21.5%	—
ヘルメット着用する必要性を感じない（安全だと思わない） から	24.7%	▲0.2pt	24.9%	▲9.4pt	34.3%	—
ヘルメットの保管場所に困るから	20.0%	+0.8pt	19.2%	+3.2pt	16.0%	—
蒸れたり熱がこもるのが不快だから	19.8%	+0.6pt	19.2%	▲0.5pt	19.7%	—
着用している人が少ないから	19.7%	▲1.3pt	21.0%	▲6.8pt	27.8%	—
髪型が崩れるから	16.2%	▲0.3pt	16.5%	0.0pt	16.5%	—
どんなヘルメットを着用すればいいかわからないから	9.2%	▲1.0pt	10.2%	▲1.6pt	11.8%	—
おしゃれじゃないから	6.8%	▲0.2pt	7.0%	▲1.3pt	8.3%	—
ヘルメットの正しい着用方法がわからないから	2.0%	0.0pt	2.0%	▲0.9pt	2.9%	—
その他	9.2%	▲1.0pt	10.2%	+2.6pt	7.6%	—

【表 5】 お持ちのヘルメットが安全基準を満たしているか

	2024 年度		2023 年度	
	割合	前年度差	割合	前年度差
安全基準を満たしている	40.7%	+1.2pt	39.5%	—
安全基準を満たしていない	5.2%	▲0.6pt	5.8%	—
わからない	40.5%	▲0.3pt	40.8%	—
安全基準について知らない	13.5%	▲0.4pt	13.9%	—